

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京阪電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	65 百万円
--------	--------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	1 編成	7 両	
その他※		1 駅	
備考	※列車接近・行先表示器		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	883 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	545	338	0
備考			

本年度までの累計整備費	4,716 百万円
本年度までの累計徴収額	3,769 百万円

※端数処理の都合上、様式2-1の本年度整備費と様式2-2の整備費の合計は異なる

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		百万円
エレベーター	0 駅	0 基		百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		百万円
バリアフリースイール	0 駅	0 ヶ所		百万円
車両のフリースペース	1 編成	7 両		12 百万円
その他※		1 駅		11 百万円
備考	※列車接近・行先表示器 (光善寺駅)			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	0 駅	0 番線		百万円
エレベーター	0 駅	0 基		百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		百万円
バリアフリースイール	0 駅	0 ヶ所		百万円
車両	0 編成	0 両		百万円
その他		駅		百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				41 百万円
収受システム改修費				百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				百万円
備考	維持管理費:ホームドア、エレベーター、運行情報配信システムのメンテナンス			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	2番線	33%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	6番線	100%	0駅	-	0駅	-

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
例) ○○駅ホームドア整備事業（××駅△△番線）			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。